

割れない!

剥がれない!

超・速乾!



GUN-MODOKI (ガンモドキ)

染めQリムーバー (ソフト/ハード) 100ml

染めQクリーナー 100ml/500ml

染めQエアゾール 264ml/70ml

海・UMIシリーズ 264ml/70ml

染めQベースコート 1L/264ml/70ml

染めQ原色 1L/100ml

染めQプライマー 264ml

## 革、布、木材、プラスチック、金属も・・・ 質感を変えずに 多種多様な素材に

【染めQシリーズ】は、  
ナノ単位の粒子が素材の表面に密着することで、  
まるで染めたかのような仕上がりに!

その密着力は、引っ張ってもねじっても、割れたり剥がれたりすることがなく、  
素材の質感を変えずに、イメージを変えることができます。

革製品のカラーチェンジャー、古くなって色あせたモノの補修にも・・・  
速乾で作業性も良く、幅広い素材と用途にご使用いただけます。

古くなって色あせた  
ソファも新しく!?



どちらにスプレーしたか  
分からない程自然な仕上がり



### 使用方法

- ① スプレーしたくない箇所を、新聞紙やマスキングテープなどでカバーしてください。スプレーの飛び散り防止に、周辺の壁や床面なども同様にカバーしてください。
- ② 塗装する前に【染めQクリーナー】で、塗装面の汚れや油分を落としてください。油分や汚れが残っていると【染めQ】の付着を悪くするので完全に除去してください。
- ③ 【染めQ原色】は、使用前に十分に撹拌してください。【染めQエアゾール】は、使用前に上下に1分程度よく振ってください。使用中も時々振ってご使用ください。  
手を素早く動かし薄く色付く程度にスプレーします。3分ほど乾燥時間を取りお好みの色になるまで薄く塗り重ねてください。  
※【染めQ原色】は必ずスプレーガンをご使用ください。口径は1.0mm程度、吐出圧は1.0kgf/cm<sup>2</sup>以下と弱めにしてください。  
吐出圧が高いと【染めQ原色】が塗装面から跳ね返ってしまいます。塗布量は色により異なりますが、50～150g/m程度が目安となります。  
※ムラや割れ、剥がれの原因になるので、一度に厚くスプレーしたり、塗装面とスプレーとの距離が15cm以上離れ過ぎないように注意してください。  
※上下左右と様々な角度からスプレーすることで、ムラがなくなきれいな仕上がりになります。
- ④ 15分以上乾燥させてください。(気温 20℃、湿度 60%の環境下での目安)  
※【染めQ保護ツヤ出し】を仕上げに使用するとツヤと耐久性が増します。  
※実際に使用する際は、24時間以上乾燥させてからご使用ください。

#### 【染めQプライマー】: 金属、ガラスなどにスプレーする場合に

金属・プラスチック・PPなど、表面がツルツルしている素材にスプレーする時に使用します。素材と【染めQ】の密着力を上げます。

#### 【染めQベースコート】: 色の濃い素材に明るい色にスプレーする場合に

濃い色の素材の色を隠すのに使用します。【染めQ】は、超・薄付きです。そのため素材の色の影響を受けることがあります。濃い色の素材に薄い色をかぶせたい場合は、下処理として【染めQベースコート】を必ずご使用ください。

#### 【GUN-MODOKI】: スプレーする時の手への負担軽減に

缶の噴射口に装着することで、スプレーする時の手の負担を軽減するサポート品です。広範囲へのスプレーも手軽にキレイにできます。

#### 【フラットベース】: 染めQのツヤを抑えてマットな仕上がりに

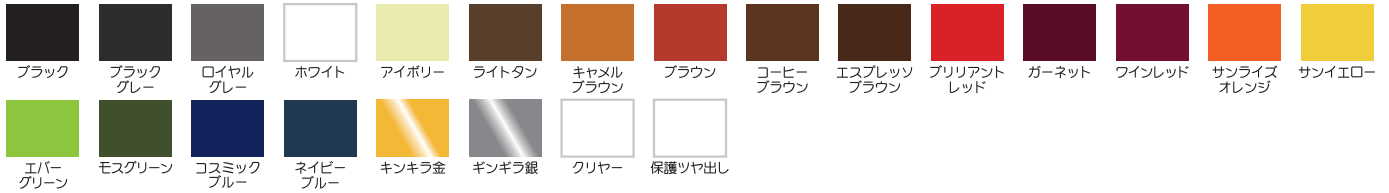
【染めQ原色】と【フラットベース】をそれぞれよく撹拌してから、更によく混ぜてご使用ください。【フラットベース】を多く入れるほどよりマットな仕上がりになります。  
※染めQ原色に対し60% (容量比) を超えて混合しないでください。

#### 【染めQリムーバー】: 染めQを落としたい場合に

塗装された染めQを落とすときに使用します。  
ソフト → 革・ビニールなど 溶剤に弱い素材に / ハード → 金属・ガラスなど 溶剤に強い素材に  
※布などの吸い込む素材や、シワや縫い目などの細かい隙間に浸透してしまった【染めQ】は、落とすことができません。

# 染めQ ならではの豊富なカラーラインナップ

〈エアゾール 264ml/70ml〉



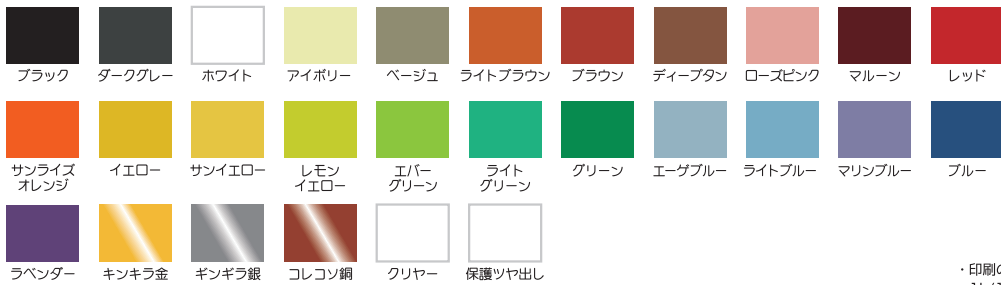
〈エアゾール 70mlのみ〉



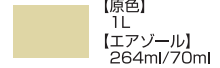
〈海・UMI シリーズ 264ml/70ml〉



〈原色 1L/100ml〉



〈ベースコート〉



濃い色の素材に薄い色をかぶせたい場合の下処理として、必ずご使用ください。

〈フラットベース〉

染めQのツヤを抑えてマットに仕上げます。染めQ原色に混ぜてご使用ください。

※染めQ原色に対し60%を超えて混合しないでください。(容量比)  
容量：1L/100ml

・印刷の条件などにより、実際の色とは異なって見える場合があります。  
・1L/100mlは、受注生産品のため納品までお時間をいただいております。

## 素材適応表

| 素材            | 適応 | 備考         |
|---------------|----|------------|
| 合皮            | ○  |            |
| 牛革            | ○  |            |
| 豚皮            | △  | お問い合わせください |
| ビニールレザー       | ○  |            |
| スエード・ヌバック     | ○  |            |
| オイルレザー        | ×  |            |
| エナメル          | ×  |            |
| 爬虫類皮革(蛇・ワニ等)  | ×  |            |
| 布(綿・ガーゼ・ナイロン) | ○  |            |
| ジーンズ          | ○  |            |
| ポリエステル        | △  | お問い合わせください |
| ファー(天然ものを除く)  | △  | お問い合わせください |
| ペロア           | ○  |            |
| シルク           | △  | お問い合わせください |
| 木             | ○  |            |

| 素材          | 適応 | 備考             |
|-------------|----|----------------|
| 金属(金・銀・銅など) | ○  | プライマーをご使用ください  |
| アルミ         | ○  | プライマーをご使用ください  |
| ステンレス       | ○  | プライマーをご使用ください  |
| プラスチック      | ○  | プライマーをご使用ください  |
| アクリル        | ○  | プライマーをご使用ください  |
| ポリエチレン(PE)  | ×  |                |
| ポリプロピレン(PP) | ○  | プライマーをご使用ください  |
| 軟質塩ビ        | △  | お問い合わせください     |
| 合成樹脂        | ○  |                |
| ゴム          | △  | お問い合わせください     |
| シリコン        | ×  |                |
| 陶器・タイル      | ×  |                |
| タイヤ         | ×  | タイヤ染めQをご使用ください |
| 発泡スチロール     | ×  |                |
| コルク         | ○  |                |

※上記の素材の他に撥水、防水加工等、特殊加工がしてある素材や、油分の除去ができない素材にはご使用いただけません。  
※布製品・ジーンズ・スエード・ヌバック・ペロアなど吸い込みの強い素材には、より鮮やかに仕上がる布製品用の「ジーンズ染めQ」もおすすです。  
※上記にない素材は、お問い合わせください。

## 使用上の注意

- 爬虫類皮革・エナメル・シリコン・PE(ポリエチレン)など、一部で使用いただけない素材があります。詳しくは【素材適応表】をご確認ください。
  - 溶剤に弱い素材、油分が完全に除去できない素材、表面に撥水加工などのコーティングがされている場合は、使用できません。
  - 【素材適応表】に記載のない素材につきましては、お問い合わせください。
  - 吸い込みの多い布地や、スエードなどの毛足の長い素材に厚く塗り重ねると、ごわつきが出ることがあります。
  - ご使用前に目立たない箇所ですりこみをして、素材への影響や付着性など、異常がないことをご確認ください。
  - 濃い色の素材に薄い色をかぶせたい場合は、下処理として、【染めQベースコート】を必ずご使用ください。布などの吸い込みの多い素材に使用した際に、【染めQベースコート】をご使用いただいても色が出にくい場合があります。ご使用前に目立たない箇所でお確かめください。
  - 気温が低い時(5℃以下)は、乾燥不良が起きやすいため、ご使用をお避けください。
- 湿度が高い時(70%以上)は、白化現象(塗膜表面が白く濁ったような状態)が起きやすいためご使用をお避けください。  
なるべく風のない屋外で使用し、塗料でまわりを汚さないように養生を十分にしてください。  
塗装・乾燥中ともに換気をよくし、マスクや手袋を着用して塗料のミストを吸い込んだり皮膚に触れないようにご注意ください。

※カタログに記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。